

# 「一般社団法人 大阪バス協会」 加入について

推薦者: 近畿運輸局

## 1. バス業界の人材確保に関する現状

◆昨今のバス事業を取り巻く環境は、団塊世代の退職後における運転者不足が深刻な問題であり、運転者不足による減便、路線廃止、貸切バスでは運行依頼があっても受注できない事態が散見される。また、現役運転者も高齢化が進み、将来迎える大量退職に備える対策が急務である。

## 2. 一般社団法人 大阪バス協会について

所在地: 大阪市北区堂島浜二丁目1番25号 中央電気倶楽部4階

代表者: 会長 井波 洋(阪急バス(株)代表取締役社長)

設置: 昭和22年12月22日

会員数: 116社(H30. 3. 1現在)

目的: 旅客自動車運送事業の公益性にかんがみ、地域交通及び地域間交通における輸送サービスの改善を図り、地域社会の健全な発展に寄与し、かつ、バス事業の適正な運営及び健全な発展の促進に努め、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。



## 3. 人材を確保するための対策(取組)内容 ※予定及び検討事項も含む

◆バス業界への信頼を回復するため、イメージアップを図る取組を実施している。

【実績】「貸切バス事業者安全性評価認定制度」のリーフレットを刷新

内容: JR時刻表への掲載や道の駅での配布等

対象: 一般利用者(狙い: 業界イメージアップ)、事業者(狙い: 安全対策への意識向上)

※「貸切バス事業者安全性評価認定制度」: 安全確保に向けた取組状況を評価・認定・公表する制度

## 推薦者自由記述欄

◆人材確保の問題は、従前からバス事業者が個々に取り組んできたものの、より実効性のある取組とするためには、業界全体での取組が重要である。本推進会議のメンバーに大阪バス協会が仲間入りすることで、他業界と情報を共有することができ、バス業界全体にとって有益であると考えます。